

やまのべ 議会だより

創る、繋ぐ。子どもたちが誇れるまち

けいしょう
「繋翔」
未来へ...

2026 **5**
令和8年5月12日発行
No.132

やまのべ議会だより

2026年5月号 VOL.132



- 定例会 本年度の主な重点事業は 2～3
- 予算特別委員会 限られた予算を有効活用 4～5
- 議案審議 より良いまちづくりを目指して 6～7
- 一般質問 町政のここはどうする? 8～9
- 新しいまちへの挑戦 議会活動報告 10～11

写真/山辺中学校卒業式
(関連記事 12ページ)

発行/山形県山辺町議会
編集/広報常任委員会
Eメール:gikai@town.yamanobe.yamagata.jp
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地
TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1112

山辺町議会
ホームページは
こちら



●発行/山形県山辺町議会 ●編集/広報常任委員会
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地 ○印刷/株式会社アプラス

やまのべ 女声合唱団 前常任指揮者 吉田ユカリさんからの メッセージ

「人に恵まれ合唱に支えられた人生」



山辺町に生まれて86年。地元の中学校(中中、山辺中)に25年間、音楽教諭としてお世話になり、退職後も「やまのべ女声合唱団」を受け持たせていただきました。

山辺中学校の音楽室に掲示した「音楽は和なり」を筆頭に「仲良く 若く 美しく」「良き家庭人、良き社会人でありたい」を加えて、私たちのモットーとして活動してきました。どれほどたくさんの方々に支えられ励まされ、助けていただいたことが感謝の言葉しかありません。

ハワイ親善演奏、ロマンティックコンサート、全日本おかあさんコーラス東北大会および全国大会、社会音楽祭、県トップコンサート、国民文化祭2003、やまのべ童謡音楽祭、文化祭 etc. たくさんさんの思い出がよみがえります。

「やまのべ女声合唱団」と過ごした日々は私の宝物。そして家族の協力があったの幸せな人生でした。これからは小さい頃から一緒に歌ってきた「シュガーシスターズ」の佐藤容子さんが常任指揮者を引き継ぎ、ピアニストの大沼美紀さんとともに「やまのべ女声合唱団」を盛り上げてくださいます。

最後に、乞う、団員募集!!



表紙の説明

令和7年度山辺中学校卒業式。厳粛な雰囲気の中での卒業証書授与。7年度の生徒会スローガン「繋翔」のように、卒業生たちはそれぞれの思いを未来へと繋ぎ、高い目標を持って大きく羽ばたき、高く翔けていくのです。

厳かな式の時とは違い、晴れやかな明るいたくさんの笑顔が校舎から出てくると、門出の扉の前では、在校生によるはなむけのエールが響いていました。卒業生の思いはしっかりと後輩へ受け継がれているようです。

この学校で、そしてこの町で学んだことを新たな世界でも生かし、さらに高みを目指して飛躍してほしいと思い、卒業証書を手には校章に向かってジャンプしてをもらいました。

卒業生の皆さまに、幸多からんことをお祈り申し上げます。



編集後記

りんごやかさくらんぼなどの花が咲き乱れ、緑色の葉っぱとのコントラストが広がっています。初夏のやわらかな日差しとともに、新しい季節がやって来りました。

町内の小学校や中学校では、希望に胸を膨らませた新入生を迎え、新学期がスタートしています。真新しいランドセルを背負った小学生や、少し大きめの制服を着て登校する中学生の姿は、私たちに微笑ましい気持ちや新鮮さを与えてくれます。

少子化が進むなか、地域の未来は、こうした子どもたちの成長の中にあります。議会としても、安心して学び、のびのびと夢を育てられる環境づくりに取り組み、引き続き、通学路の交通安全にも万全を尽くしてまいります。

- 発行責任者 佐藤 利和 記
- 議長 武田 啓一郎
- 広報常任委員長 竹 山 一
- 委員 村 山 幸 一
- 副委員長 遠 藤 真 由 美
- 委員 渡 邊 幸 一
- 委員 佐 藤 裕 二
- 委員 日 野 利 春

議会だよりがカラー写真で閲覧できます。



昨年度比
3.6%増 **可決**

110億6300万円 づくりを確実に前へ

令和8年度予算総額

魅力あふれるまち

今年度の主な重点事業

「持続可能なまちづくり」を推進

安全安心なまち・住み続けたいまちづくりに

- ・小型動力ポンプ付き積載車の購入…………… 1586万円
- ・消防資機材運搬車の購入…………… 306万円
- ・大寺ふれあい公園に防犯カメラを設置…… 130万円
- ・有害鳥獣被害対策に(クマ被害への未然防止など)…………… 463万円
- ・住み続けたいまち山辺住宅建設等支援補助に… 762万円



みんなの公園を大切に

まちの魅力アップのさらなる支援に

- ・シティプロモーション推進事業に…………… 1091万円
(プロモーション動画作成、マスメディアへの情報発信事業、シティプロモーションウォークラリーなど)
- ・町民プールの改築工事に…………… 3億 5000万円
- ・公民館などに備品購入…………… 495万円
(利便性を考慮したテーブルやイスの更新)
- ・ふるさと応援事業に…………… 3億 2175万円
(ふるさと応援事業サービス委託料、寄附金美力アップ補助など)
- ・安達峰一郎生家屋根の改修に…………… 1480万円
- ・山辺温泉の内装レイアウト工事に…………… 2200万円



内装工事が待たれる山辺温泉

子どもたちの豊かな生活と環境づくりに

- ・教育・保育施設等副食費補助に…………… 1118万円
- ・教育ICT化の推進(情報通信機器購入)…… 6138万円
- ・屋内遊戯施設を整備(旧大寺小学校を活用)…………… 2541万円
- ・小中学校の給食費の無償化…………… 6719万円
- ・子育て支援応援金…………… 743万円



子どもたちの笑顔のために

一人ひとりの充実した暮らしを育むまちづくりに

- ・シニアライフカード事業に…………… 625万円

こだわりのものづくり支援に

- ・やまのべ創業スタートアップ支援へ補助…… 300万円
- ・やまのべ高品質なものづくり応援補助金を交付… 150万円
- ・地域おこし協力隊の活用事業に(農業分野)… 1374万円

人と自然が共生するまちづくりの推進に

- ・公民館(大寺・相模・近江)の照明をLED化… 1026万円
- ・太陽光発電装置設置事業に補助…………… 100万円

定例会のあらまし

第1回定例会が3月2日から3月13日の12日間の会期で開催されました。定例会初日に、議案審議、人事案件の承認、令和7年度補正予算を審議しました。また町長より令和8年度一般会計、3つの特別会計並びに2つの公営企業会計の基本的な方針とその概要が説明され、ただちに予算特別委員会に付託されました。また一般質問では3人の議員が質問を行いました。定例会最終日に、予算特別委員長より予算審議内容が報告され、採決の結果、原案通り可決しました。

予算特別委員長報告

1. 経年劣化や未利用状態の続く公共施設の利活用の検討を進めるとともに、定期的な点検による維持管理に努めること。
2. これまでの取り組み状況の検証と住民の声も反映し、山辺らしい第6次山辺町総合計画の策定に向け内容の精査に努めること。
3. 観光資源をさらに磨くことで山辺らしい観光づくりを目指し、シティプロモーションと積極的な財政投資の推進に努めること。
4. 入浴料改定と施設改装を踏まえ、山辺温泉の利便性や利用促進、観光拠点機能の向上を図り地域活性化につながる運営に努めること。
5. 受講料改定や講座内容見直しを踏まえ、健康づくりと交流の場として、継続しやすい輝らりやまのべ健康教室の事業充実に努めること。
6. 若手就農者の確保・定着支援を充実させ、地域おこし協力隊や関係機関と連携し、新たな担い手育成と農業発展に努めること。
7. 老朽化インフラの計画的な点検・整備を進めるとともに、排水ポンプ車の運用体制を整え、安全安心の確保に努めること。
8. 町民プールの改築中は、中学校プール授業への配慮と工事安全を徹底し、再開後は万全な維持管理体制で利用促進に努めること。

令和8年度会計別予算明細

会計名		令和8年度予算額	令和7年度予算額	前年度比(%)
一般会計		72億9715万円	69億7934万円	4.6
特別会計	国民健康保険	14億524万円	13億8685万円	1.3
	介護保険	16億4834万円	16億1166万円	2.3
	後期高齢者医療	2億5548万円	2億1284万円	20.0
公営企業会計	簡易水道事業	1327万円	1355万円	△2.0
	公共下水道事業	4億4352万円	4億7063万円	△5.8

(注) 公営企業会計予算額は、減価償却費を除く

限られた予算を有効に…

予算特別委員会

チェック Q&A

令和8年度予算審議に対し、議長を除く全議員で特別委員会（委員長 樋口和男、副委員長 佐藤利和）を3月2日に設置しました。第1分科会、第2分科会で4日間の審議を行い、3月13日に委員長から総括の報告を受け、本会議において原案通り可決されました。

厚生産業 第2分科会 町民生活課・保健福祉課・産業課・農業委員会建設課

総務文教 第1分科会 総務課・防災対策課・政策推進課・美力発信課 税務課・会計課・教育委員会教育課・議会事務局

予算特別委員会

Q 山辺温泉保養センターの内装レイアウト工事の内容は。

A 玄関を現在の産直入口に一本化し、売店や産直、食堂を必ず通るように動線を全面的に見直す。施設内の明るさについては、照明器具のLED化などを検討している。（町民生活課）

Q 太陽光発電装置設置補助の内容は。

A 太陽光発電システム、蓄電システム、地中熱を利用した装置への補助。工事費の10分の1、キロワットあたり2万5千円（10万円を上限）の補助。（町民生活課）



再生可能エネルギー設備の普及を

Q 新規のシニアライフカード事業の具体的な内容は。

A カードの提示で山辺温泉が200円引き、デマンドバスが100円引きで利用できる事業。（保健福祉課）

Q 障がい者総合支援事業で障がい者が自立していけるような事業はあるのか。

A 国が制度としてサービスを提供する事業を行っている。（保健福祉課）

Q さくらんぼ結実確保対策事業の内容は。

A 町独自の事業で、農業者個人に対してミツバチのリースなどに支援する事業。あわせて園芸産地化支援事業にて、天候不順時に対応できる毛ばたきや受粉機などへの補助も行う。（産業課）



おいしい山辺の農産物を後世に

Q 農業担い手育成に関する支援は。

A 認定農業者支援として、飼料用米や水稻転換作物の作付面積を拡大する方に、10分の3（上限300万円）といった思い切った支援と、農業の地域おこし協力隊を含む新規就農者の育成・支援も検討している。（産業課）

Q 排水ポンプ車導入に係る町民への周知は。

A デモンストレーションのほか、防災訓練時などに車両展示も検討している。（建設課）

Q 住み続けたいまち山辺住宅建設支援補助の内容は。

A 町内業者を利用し住宅の修繕などを行った場合、その20%（最大24万円）を補助する。（建設課）

Q 旧作谷沢小中学校の管理と今後の利活用は。

A 職員が定期的に点検している。建物が雨漏りするなど劣化が進み、消防設備などあらゆる機器の点検が必要で利活用は決まっていない。（総務課）

Q 新規に購入する小型動力ポンプ付き積載車と消防資機材運搬車両の配備先は。

A 小型動力ポンプ付き積載車1台は、根拠地区を管轄する第3分団第1部の更新用車両として配備を予定している。また、消防資機材運搬車1台は畑谷地区を管轄する第2分団第3部2班の更新用車両として配備を予定している。（防災対策課）



さらなる安全安心のために

Q 山辺町総合計画策定に向けての進め方は。

A 令和8年度は基本構想を、令和9年度には基本計画、総合戦略と国土利用計画を策定していく。各分野、団体の推薦者や学識経験者などによる15人程度の住民委員会を設置し意見交換していきたい。（政策推進課）

Q ブロック協議会の活性化に向けた対策は。

A 課題解決に向け、また、全体的な情報交換の場となるように、研修会開催を予定している。（政策推進課）

Q マスメディアなど活用した情報発信委託の内容は。

A エフエム山形で山辺町美力発信番組「AGASUKE マーチ」を放送している。またSNSによる情報発信として、Instagramなどの運用を委託している。（美力発信課）

Q 地域おこし協力隊2年目の取り組みは。

A 1年目は県立山辺高校での活動が中心だったが、2年目からは活動範囲を広げ、フレンチ料理教室の開催など地域の活性化に貢献していきたい。（美力発信課）



活躍が期待される毛利さん

Q 町史年表作成が計画されているが完成はいつ頃か。

A 町史年表作成専門員3人を配置するとともに、町史年表作成委員会を組織し、3年間で完成予定。（教育委員会）

Q 町民プール改築工事スケジュールと工事期間中のプール授業は。

A 4月に入札執行し、令和9年度末に完成する予定。工事期間中はプール営業を中止とするが、約1カ月間は中学校のプール授業に使用できるようにする。（教育委員会）

議案審議

特別会計補正予算

会計名	補正額	総額
国民健康保険特別会計	1億2176万円の減	12億5777万円
介護保険特別会計	1億3213万円の減	15億1417万円
後期高齢者医療特別会計	509万円の増	2億1980万円

公営企業会計補正予算

※各会計は事業見込みによります。また、簡易水道事業会計の資本的収入で3千円の減額補正がありました。また、1万円未満のため、記載を省略しています。

会計名	項目	補正額	総額
簡易水道事業会計	収益的収入	74万円の増	2577万円
	収益的支出	8万円の減	3164万円
公共下水道事業会計	収益的収入	2646万円の減	3億3930万円
	収益的支出	332万円の減	3億3065万円
	資本的収入	1070万円の減	2億2536万円
	資本的支出	800万円の減	3億0957万円



条例の制定と一部改正

- ◎山辺町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正
期末手当の支給割合を改定するものです。
- ◎山辺町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
山形県人事委員会勧告に鑑み、行政職給料表を改定するものです。
- ◎山辺町個人情報情報の保護に関する法律施行条例の一部を改正
個人情報保護法の規定の一部改定により文言を修正するものです。
- ◎山辺町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定
山辺町子ども・子育て支援推進会議条例の一部を改正
子ども・子育て支援法の一部改正により町で条例を制定並びに一部改正する必要があるため制定するものです。

請願第4号

請願名	保険薬局も無料低額診療事業の対象とすることを求める意見書の提出に関する請願
請願者	山形県民主医療機関連合會 会長 茂木 紹良
趣旨	院外処方箋の患者も無料低額診療事業の対象とすることを求めるもの。
紹介議員	日野 一春
結果	継続審査後 不採択
理由	国の制度改正や現行制度の枠組み、法的制約、業界団体との合意形成など、さまざまな課題の検証が必要なことから本町議会として国に意見書を提出することは、適当ではないと判断する。

第1回臨時会

令和8年1月21日

4億5051万円追加し
予算総額84億1893万円に

第1回臨時会のあらまし

第1回臨時会が1月21日に開催され、令和7年度一般会計補正予算専決処分の承認、同補正予算を審議し、原案通り可決しました。

主な補正内容	歳出
衆議院議員選挙事業	1064万円の増
物価高騰対策商品券配布事業	1億4015万円の増
ふるさと応援事業	1億9684万円の増
シニアライフ応援やまのべ券配布事業	4017万円の増
物価高対応子育て応援手当支給事業	3908万円の増
プレミアム付き商品券事業	1568万円の増

※については専決処分

請願第1号

請願名	「スパイ防止法」の制定に反対する意見書提出の請願
請願者	山辺町革新懇話会 峯田 博
趣旨	国民の基本的な人権を脅かし、民主主義の根幹を揺るがしかねない重大な問題を含むものであり、法の制定に反対する。
紹介議員	日野 一春
結果	不採択
理由	国の安全保障に関わる重大事項で、国政において十分な議論が必要なものであり、未だ法律の具体的内容も明確に示されていない段階で、地方議会から一方的に制定に対し反対の意見書を提出することは妥当性を欠くものである。

人事案件

- ◎介護保険条例の一部を改正
安定した介護認定審査を行うため介護認定委員の定数を「14人」から「16人」に改正するものです。
- ◎作谷沢辺地に係る総合計画の一部変更
自動車を購入するため追加変更するものです。
- ◎山辺町農業委員会委員の4分の1以上を認定農業者とする
同意
定められた委員定数の過半数を認定農業者などにするのが困難なため。
- ◎山辺町農業委員会委員任命の同意
鈴木正志氏（根際） 小関健登氏（大塚）
村山俊雄氏（大蔵） 佐藤るみ子氏（山辺）
相澤富一氏（山辺） 多田重敏氏（山辺）
垂石敏子氏（山辺） 佐藤政克氏（北作）
- ◎山辺町監査委員選任の同意
遠藤 剛氏（山辺）
- ◎山辺町固定資産評価委員会委員選任の同意
齋藤 勇氏（大蔵） 多田利明氏（大寺）
笠原光子氏（山辺）
- ◎人権擁護委員推薦への意見
大通雄治氏（山辺） 後藤淳子氏（山辺）
熊谷祐子氏（山辺） 鈴木美重子氏（根際）
- 令和7年度
一般会計補正予算
1億8153万円を減額し
総額82億3741万円に
主な補正内容
歳出
非課税世帯等臨時特別給付金 6660万円の減
介護給付費・訓練等給付金 1452万円の増
防災備蓄品等整備事業
（防災資機材倉庫設置工事と備品購入） 3121万円の増



一般質問 町政のここはどうする?

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。

※一般質問は、一問一答方式ですが、紙面の関係で主な質問と答弁を要約して掲載しています。



3月の定例会では、3人の議員が一般質問を行いました。

- 村山 幸一** (移住定住促進) 移住・定住促進「選ばれるまち」に
- 三浦 正好** (空き家対策) 今後の空き家対策と町づくりは山辺町の8050問題は
- 鈴木 誠也** (稼げる観光) やまのべまちの観光振興

定例会のお知らせ
次回の定例会は6月です。
傍聴については、町ホームページをご覧ください。
電話 023-667-1117 (議会事務局)

移住・定住促進 「選ばれるまち」に

移住定住促進
村山 幸一 (町長) 住み続けたいまちを官民連携でつくり上げていく

質問 学生などのUターンや子どものいる若者世代の転入状況と現状認識は。

答弁 転入世帯はほぼ横ばいで緩やかな減少傾向にある。なお町の人口は、将来的に安定的な成長を保つため設定している目標人口の推計値と比較して、2025年はわずかながら上回っており、これまで取り組んできた施策や利便性の高い交通アクセス、暮らしやすい住環境などが評価されたと認識している。

質問 移住促進に向けてプロモーション動画を配信しPRしているが、その効果と期待するものは。

答弁 平成22年に制度を開始して以来、これまで19件の成約実績がある。令和5年度から空き家バンクに登録している物件を対象に改修費用を補助しており、今後も官民連携の強化で、空き家バ

質問 「空き家バンク」制度の利用状況と今後の展開は。

答弁 平成22年に制度を開始して以来、これまで19件の成約実績がある。令和5年度から空き家バンクに登録している物件を対象に改修費用を補助しており、今後も官民連携の強化で、空き家バ



選ばれるまち！子どもたちの元気な声が聞こえるまち (近江公民館にて)

質問 人口減少社会に向かう中、どのように町の魅力を発信し人口流出を抑えていくか。

答弁 町民が町に誇りを持ち「ここで暮らしてよかった」「これからも住み続けたい」と思える「まちづくり」を官民連携で進めながら創り上げていくこと、その積み重ねこそが、人口流出を抑え、新たな人を呼び込む最大の発信力になると確信し、持続、発展できる「まちづくり」に全力で取り組んでいく。

今後の空き家対策と町づくりは



三浦 正好 (町長) 町空家等対策計画に基づき取り組んでいる

質問 市街化区域と市街化調整区域別の空き家・空き家予備軍は何件あるか。

答弁 令和8年2月末現在で空き家は73件。内訳は、市街化区域内23件、市街化調整区域内19件、都市計画区域外31件となっている。空き家予備軍の件数は、把握していない。

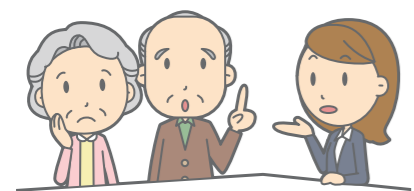
質問 市街化区域は不動産業者が売買するが、建て替えや増築に規制が多く売買しづらい市街化調整区域の空き家対策はどうするか。

答弁 市街化調整区域内の空き家に特化した対策は行っていない。

質問 令和7年第2回定例会の町長答弁で「プロジェクトチームを設置し区域区分の廃止・法第34条11号の条例化・地区計画の申し出制度の導入を検討している」とあったが、その後はどうなっているか。

答弁 検討の結果、区域区分の廃止と都市計画法第34条11号の制度は、いずれも現段階では難しいと考えている。地区計画の申出制度については、現在も検討を行っている。

質問 山辺町の8050問題は、町は、20歳から60歳までの引きこもり状態の人数をどの程度把握しているか。



※8050問題とは、80代の親が50代の引きこもりの子どもを経済的・精神的に支え、共倒れのリスク(孤立・貧困・介護など)を抱える社会問題

稼げる観光 やまのべまちの観光振興



鈴木 誠也 (町長) 町観光振興計画に基づき各種施策を展開している

質問 町観光振興計画の第4章アクションプランの中で、情報発信によるPRと人材育成、「稼げる観光」の取り組み、観光推進ネットワークの充実はどのくらい進行しているのか。

答弁 町の観光情報を発信している町観光協会のホームページの閲覧数やSNSのフォロワー数は大幅に増加している。

質問 大相撲山辺場所の開催をはじめ町独自のイベントを開催している。ふるさと納税での返礼品、特に体験型返礼品には、地域経済の活性化や町民との触れ合いをとおして山辺ファンの創出、拡大などの

質問 インバウンド需要に伴う観光推進について、町の観光ビジョンの中でどういう取り組みをしていくのか。

答弁 「稼げる観光」として、来年度改装工事を行う山辺温泉の入口付近に産地直売所を配置してはどうか。

質問 「稼げる観光」として、来年度改装工事を行う山辺温泉の入口付近に産地直売所を配置してはどうか。

答弁 指定管理者と話し合い考えていく。



内装工事をする山辺温泉

新しい町への挑戦

町の財産を生かし、
うるおうまちづくり

主な活動（令和8年1月～3月）

議会運営委員会（1/21、2/20、3/11、3/24）	例月出納検査（1/20、2/24、3/23）
総務文教常任委員会（2/4、3/6）	山形広域環境事務組合議会（2/18）
厚生産業常任委員会（2/5）	最上川中部水道企業団議会（3/18）
広報常任委員会（1/6、1/19、2/20）	山辺町介護保険運営協議会（2/10）
全員協議会（1/16、2/12、3/13）	山辺町都市計画審議会（3/17）
予算特別委員会（3/2、3/6、3/9、3/10、3/11、3/13）	山辺町社会教育委員会会議（3/18）
議会活性化特別委員会（3/4、3/13）	市町村アカデミー特別研修（1/8、1/9）
県町村監査委員協議会定期総会・研修会（2/16）	国土交通省東北運輸局表敬訪問（1/14）

私たち議員は本会議場や会議室などで協議をすることがとても多いです。でも時には外へ飛び出して行政視察や外部での研修を行ったり、各団体や地域の皆さんと交流を図ったりしています。令和8年1月から3月の議会活動・議員活動の一部を紹介します。ぜひご覧ください。

なり手不足解消などに向けて

現在、全国の地方議会では、議員のなり手不足が深刻化しています。我が町でも3年前の補欠選挙、その翌年の本選挙が無投票となりました。そのような状況を踏まえて、議会活性化特別委員会を昨年12月に組織し、委員長に佐藤利和、副委員長に神保稔を選任し、議長を除く議員全員が委員となり、課題解決に向けた取り組みを始めました。

他自治体でも同じような動向が見られますが、議会の活性化を図るためには、議員が活動しやすい環境の整備と町民から信頼される開かれた議会づくりを目指さなければなりません。幅広い人材が参画できる環境を目指すことで、より多くの方々の声を町政に反映することが期待できるのではと考えています。

議員活動には、自然災害対策や少雨高温による

農作物への影響、物価高騰に対しての生活支援など、直面するさまざまな課題に対する現場の対応と政策提言が求められます。

これらを踏まえて、我々議会は、行政、そして町民の皆さんと一体となって議会活性化に取り組んでいきたいと考え、検討を進めています。



ずっと暮らしたいまちにするために



観光楽校



安達峰一郎顕彰会
特別講演会

さまざまなイベントにも
参加しています



聴覚障がいテーマ
とした映画上映会

上映前に山辺高校福祉科の皆さんから簡単な手話を教えていただきました



童謡音楽祭



消防出初式

おじゃまします！

出前議会

まちづくりについて
地域のあんなことこんなこと
議員と話してみませんか

アイデアやご意見をお聞かせください。
地域の集まり、子ども会育成会、会社、各種団体など、
少ない人数でもOKです。
土日、夜でも大丈夫。
ご指定いただいた会場に、こちらから伺います。
お申し込みは、お近くの議員まで気軽に申し付けください。

第16回 議会報告会開催のお知らせ

未来を話す会

～ずっと暮らしたいまちにするために～

日時：7月23日(木) 午前10時
会場：山辺町役場3階 本会議場

まちづくりは、ちょっとしたアイデアから生まれます！
実際に議会を行う本会議場で、山辺町の未来を語り合います。
議会の雰囲気を体感できる会場へ、ぜひ傍聴へお越しください。

自治功労者表彰

永年にわたり議員として地方自治の振興発展に寄与された功績に対し、全国町村議会議長会より表彰状が授与されました。



なべくら たけし 議員

山辺観光の可能性は

山辺町出身の東北運輸局 吉田昭二局長を1月14日表敬訪問し、観光などへのご自身の考えについてお聞きしました。

吉田局長からは「現在日本への外国人旅行客の行き先は東京や京都で、東北はまだまだ少ない。山辺町に観光客を呼び込みお金を使ってもらうためには宿泊施設や足が必要。空き家や空き校舎、民泊など考えてはどうか。山辺でIT デトックスしながら星空を眺めるなど最高だと思う」など、3年間滞在したスペインでの話も交えながらたくさんアイデアをいただきました。

吉田局長は2月14日 壺館主催の「観光楽校」でも講演されています。



吉田局長（写真中央）を囲んで

※ITデトックスとは…スマホなどデジタル機器から離れる時間をつくること。